

令和 7 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 7 年 5 月 22 日(木)18 時 30 分～20 時 00 分		
開催場所	市木まちづくりセンター	参加人数	11 人
出席議員	村武まゆみ、肥後孝俊、牛尾昭		
意見	<p>【総務文教委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域交通と高齢者支援 高齢者向けのタクシーチケット制度、スクールバスの利用状況と空席の際に住民が乗車し移動できるようにできないか。というような、地域の実情に合わせた交通手段が必要とされる。(既存の制度が地域の実情に合っていない点が指摘された。) ・ 地域活性化のための制度 地域の実情に合わせた制度設計の必要性が議論され縦割り行政の弊害や、既存制度の柔軟な運用が求められた。地域おこし協力隊の活用や、ボランティア活動の支援なども提案された。また、地域おこし協力隊の制度を食い物にする事例への懸念もあった。 		
	<p>【福祉環境委員会】</p>		
	<p>【産業建設委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 米の買い取り価格や国の政策に関する不満。5 年先、10 年先の農業計画の必要性について、この先農業が続けられるか分かりもしないのに、計画書の提出を求められても困るとの意見あり。 ・ イノシシやアライグマによる農作物被害が深刻であり、対策の必要性が強調された。具体的な対策として、イノシシ対策課(鳥獣被害専門)の設置が提案された。 ・ 森林保全と林業政策 戦後の植林政策の問題点が指摘され、広葉樹の植栽や森林保全事業の推進(植林も)が提案された。鹿による食害も問題視され、対策が必要。 ・ 河川管理 河川沿いの樹木の伐採や、河川内の清掃の重要性が議論され水害対策や道路の安全確保のために、定期的な河川管理が必要。(県管理の河川ではあるが。) ・ 合併 20 周年を記念した納涼イベントの企画で、各地域で異なる盆踊りを一斉に開催する際に、各地域から動員をかけ 		

	<p>られる事への不満があった。地域の一体感を醸成し、合併の効果を実感できるような企画が求められるが、行政と住民の思いの乖離がある。結局、どこでイベントをするにしても市域が広く暮らしの課題が違う地域が、同じ方向を向くのは難しいと感じた。</p>
--	--

令和7年6月2日 肥後 孝俊